取扱説明書

S-81B-LR

スピーカーシステム

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に「ご使用の前に」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口のご案内･修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⦸ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムのインピーダンスは、6 Ωです。負荷インピーダンスが 6 Ω～ 16 Ωのアンプ（スピーカー出力端子に 6 Ω～ 16 Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上を入力しない。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 注意

［設置］

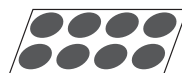
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、おのおのの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。
- この製品は天井に吊り下げたり、壁に掛けたりしないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- グリルはマグネットで固定されています。水平方向に力を加えると落下する恐れがあります。お手入れはグリルを外してから行ってください。

［使用方法］

- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 同軸ユニット（トゥイーター、ウーファー）には強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。振動板を破損する恐れがあります。

付属品の確認

- スパイク× 6

- スパイク受け× 6

- 滑り止めパッド× 8
- グリル× 2
- クリーニングクロス× 1
- 保証書× 1
- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内× 1
- 取扱説明書（本書）

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で 5 ～6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

クリーニングクロス（付属）の取り扱いについてのお願い

ホコリなどで汚れたままのクリーニングクロスを使用すると、本機の表面にキズがつく恐れがあります。クリーニングクロスが汚れたときは、以下のように洗濯をしてください。

- 中性洗剤を 1 %程度に薄めて、もみ洗いをしてください。そのあと、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
- 洗濯した際に色落ちする場合がありますが、拭き取り性能には問題ありません。

クリーニングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店でクリーニングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センターでご購入をお願いいたします。

設　置

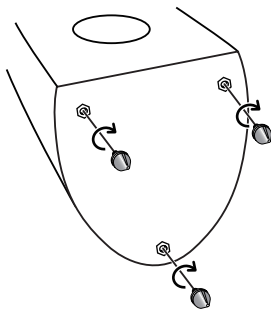
設置のしかた

- このスピーカーシステムはブックシェルフ型です。床に直接置くと床面からの音の反射が大きくなり低音部が強調されて聴きづらくなります。この場合は置台などを使用して床面から離してください。一般的には、高音用のスピーカー（トゥイーター）とリスナーの耳の高さが同じになるように設定すると良い結果が得られます。なお、置台にはスピーカースタンド「CP-81B」をお勧めします。

  CP-81B をお使いのときは、落下防止のため、必ずスピーカーシステムをネジで固定してください（詳しくは CP-81B の取扱説明書をご覧ください）。
- このスピーカーシステムには、スパイクおよび滑り止めパッドが付属しています。お好みに合わせてご使用ください。

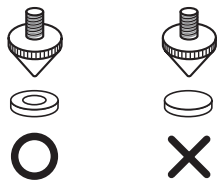
スパイクを使用するとき

手順

1. **スパイクをキャビネット底面の金属製鬼目ナットを打ち込んであるネジ部 3 カ所に奥までねじ込みます。**

2. **スパイクが載る設置場所 3 カ所に、あらかじめスパイク受けを置いておきます。**

3. **スピーカーをスパイク受けの上に立てて、キャビネットにガタツキがないようにします。**

ご注意

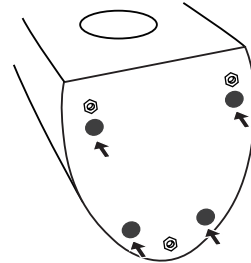
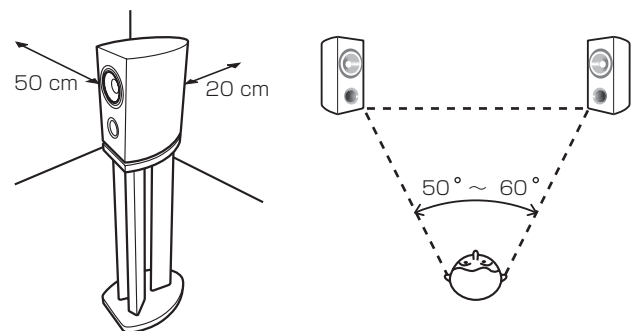
スパイク受けは下図のように、中央にくぼみのある面を上にして置いてください。

スパイク受けを使用せずに本機を設置した場合、設置した床などにキズをつける可能性があります。設置する際は、スパイク受けを使用することをお勧めします。

⚠ 注意

- 傾けながらスパイクの取り付け作業を行うことは大変危険です。キズのつかない柔らかい布などの上に寝かせて作業してください。

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

滑り止めパッドを使用するとき

安定した設置にするため、付属の滑り止めパッドを底面に貼り付けます。

設置場所について

- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。後壁からの距離で低音の量感が調整できます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。
- 左右のスピーカーは、リスニングポジションに対して等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。
- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビなどの画面となるべく同一平面になるように置いてください。
- テレビなどと組み合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビを左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムをリスニングポジションから約 50°～ 60°の角度に設置するのが理想的です。
- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また底面へはじゅうたんなどで対策することをお勧めします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで対策すると、定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。
- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステム背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをお勧めします。

⃠ 設置上のご注意

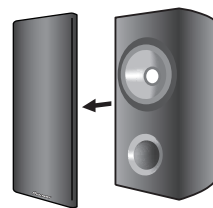
- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。転倒した場合、故障の原因となることがあります。

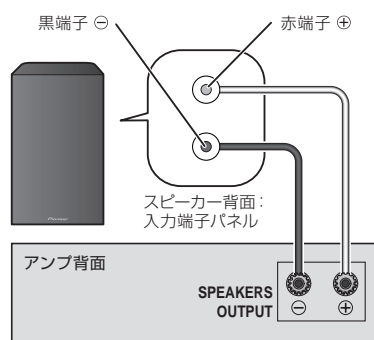
グリルの着脱

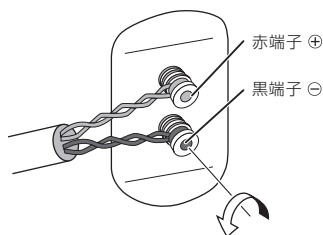
このスピーカーシステムにはグリルが付属しています。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. 取り付けるときは、グリルを本体に合わせて取り付けます。
2. 外すときは、グリルの中央付近を両方の手で持ち、手前に引っぱってグリルを外します。

⚠ 注意

- グリルの固定にマグネットを使用していますので、磁気の影響を受けやすい機器（ブラウン管テレビなど）にグリルを近づけないでください。

接　続

コードの接続

1. アンプの電源スイッチを切ってください。(POWER OFF)
2. スピーカーシステム裏側の入力端子へスピーカーコードを接続します。入力端子の極性は赤がプラス (＋)、黒がマイナス (−) です。

手で入力端子のツマミを左側 ( ) に回して緩め、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、ツマミを締め付けます。

3. スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます (詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください)。

⊘ 接続に関してのご注意

- 本機にはスピーカーコードは付属しておりません。
- 本機の入力端子はバナナプラグでの接続も可能です。
- バナナプラグをご使用の際は、入力端子の先端のキャップを外してください。
- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

仕　様

形式..位相反転式、ブックシェルフ型
スピーカー構成..2 ウェイ方式
ウーファー / トゥイーター
....同軸 13 cm コーン型 /2.5 cm ドーム型
インピーダンス...6 Ω
再生周波数帯域..40 Hz ～ 50 kHz
出力音圧レベル..84.5 dB (2.83 V)
許容入力：最大入力 (JEITA) .... 130 W
クロスオーバー周波数...2 kHz
外形寸法......190 mm（幅）x 350 mm（高さ）x 280 mm（奥行）
質量 .... 7.9 kg

付属品

スパイク 6
スパイク受け 6
滑り止めパッド.. 8
グリル... 2
クリーニングクロス.................................... 1
保証書 1
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内.......... 1
取扱説明書（本書）

- S-81B-LR はスピーカーシステム２個入り梱包です。
- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

はパイオニア（株）の開発したPHASE CONTROL技術コンセプトに基づき録音から再生までの位相特性のマッチングを図った製品に付与される商標です。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■ フリーコール 0120−944−222　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成20年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.028

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1470-A>